

# 千葉大学医学部ヨット部報

Vol.37 令和4年度 12月吉日

CHIBA UNIV. MED  
YACHT RACING TEAM

## はじめに

寒気厳しき折でございますが、OB・OGの先生方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度は前年度までの新型コロナウイルス感染症の影響による部活動の活動制限が大幅に緩和され、コロナ前とほとんど同じ水準で行えるようになりました。また2年連続で中止になっていた東医体・関東医科歯科大会が今年度は無事に開催されました。結果は悔しくも準優勝となりましたが、その悔しさを糧にして来年の東医体優勝を目指して日々活動しております。

本部報では夏に行われた東医体、関東医科歯科大会の結果の報告を中心にお届けいたします。

## 東医体レース結果

今年度の東医体はレース艇4艇、レースメンバー9人で挑みました。新歓を終えた5月下旬に江ノ島にヨットを運んでからは毎週末に江ノ島へ通い、稲毛とは異なる江ノ島特有の波と風に慣れる練習を行いました。さらに6月の中旬にはプロセラーの高山大智選手を練習にお招きし、コーチングをしていただくなどして東医体本番への調整に努めました。

新型コロナウイルス感染症の影響で2019年ぶりとなる今年度の東医体は江ノ島ヨットハーバーにて以下の日程で開催されました。

8月3日 プレレース

8月4日 女子レース

8月5日 東医体本戦1日目

8月6日 東医体本戦2日目

8月7日 東医体本戦3日目



## 東医体本戦結果

### ・ 団体戦

優勝 東北大学 35pt

準優勝 千葉大学 61pt

3位 順天堂大学 71pt



▲ 東医体後のレースメンバー  
(後列:植松/赤尾/三浦/岩岡/坂本  
前列:宮川/元田/阿部/猪野)

### ・ 個人戦

優勝 JPN4614 中嶋／中川ペア (順天堂) 9pt

準優勝 JPN4625 久保田／森田ペア (東北) 14pt

3位 JPN4509 中山／丸太ペア (東北) 20pt



▲ JPN4757 赤尾/元田

以下、千葉大学の成績

5位 JPN4486 阿部／三浦ペア 35pt

7位 JPN4757 元田／赤尾ペア 42pt

12位 JPN4581 猪野／岩岡・坂本ペア 60pt

12位 JPN4413 宮川／植松ペア 60pt



▲ JPN4581 岩岡/猪野/坂本



▲ JPN4486 阿部/三浦

### ・ 女子戦

優勝 JPN4413 宮川／植松ペア 2pt



▲ JPN4413 宮川/植松

## 東医体本戦

ここ 2 年間新型コロナウイルス感染症の影響で中止されていた東医体ですが、感染対策の遵守を条件にヨット競技の今年は幸運にも開催されることになりました。3 年ぶりの開催で優勝の機運が高まる中、東医体本番を迎えました。

東医体本戦 1 日目、北風軽風で波は比較的落ち着いているコンディションの中、第 1 レースのスタートが切られました。しかし 3 艇ともスタートの混戦に巻き込まれ、スタートで出遅れるという結果となってしまいました。5 月からの江の島での練習は多くが南風のコンディションであり、慣れない北風の中巻き上げることができずに JPN4757 が 6 位、JPN4486 が 8 位という結果になりました。その後同じような風域で徐々に東に回るコンディションで 3 レースが行われましたがうまく修正ができないままスタートで出遅れるという展開が続きました。初日は 4 レースが行われ、結果は 2 位で 1 位の東北大学に 24 ポイント離される形で終わりました。

初日の夜にコーチとレースメンバーでのミーティングにて対策を講じて迎えた 2 日目は南風の軽風で少しうねりがあるコンディションの中、1 レースが行われました。3 艇それぞれが他の艇を考え過ぎずに綺麗にスタートを切ることを実践し前日の反省を生かすことができました。そしてブローをうまく掴んだ JPN4757 が会心の走りでピンフィニッシュを果たしました。全体としても 1 位の東北大学に 20 ポイント差に詰めた形で終わりました。

逆転を目指して全レースで攻める姿勢で臨んだ 3 日目は南風微風で比較的平水面のコンディションの中スタートが切られました。2 日目の勢いそのままに 3 艇とも抜群のスタートを決めましたが 1 上レグの途中で風が振れたためノーレースとなりそこから風待ちとなりました。30 分ほどで風が安定し南風微風のコンディションでレースが開始されました。3 艇とも良いスタートを切り上位を千葉大が回る展開となりましたが 2 下レグで JPN4757 が沈をしてしまい、JPN4486 が 4 位フィニッシュとなりました。その後のレースでの巻き返しが期待されましたが定刻のため AP 旗があがり、最終日は 1 レースで終わりました。そして最終日が終わり、最終結果は東北大学が 35pt で優勝、千葉大学は 61pt で準優勝となりました。



▲ 3 日目スタートの様子



▲ 東医体後の集合写真

# 5年間を振り返って

千葉大学医学部ヨット部令和4年度キャプテン 阿部哲

3年ぶりの開催となった東医体が行われた江の島の広大な海、最終レースが終わり東北大学のレース艇、支援艇が集まって部旗を掲げ歓喜の声を上げていた光景は今でも鮮明に思い起こされます。5年間ヨットをしてきてこれほどまでに悔しい思いをしたことはありませんでした。東医体が中止になり悔しい思いをしてきた中、自分たちを技術的にも精神的にも支えてくださった先輩方、常に自分達の背中を追い続けてくれてサポートしてくれてくれた後輩達、そして活動制限がある中思うような練習がままならなかった部活を気にかけて支援を続けてくださったOBの方々に優勝という形で少しでも恩返ししたいと懸命に練習をしてきただけに悔しい思いがこみ上げてきます。しかし、これほど悔しいと思えるほど全力でこの東医体に捧げることができた自分達は本当に恵まれており、それは自分の周りの方々のサポートがなくては決してできなかったことだと感じております。特にコロナ渦の中対面での挨拶などがままならない中でもこの部活を見守ってくださっていたOBの方々にはこの場を借りて御礼を申し上げます。

私のヨット部での5年間を一言で表すと「学び」でした。ヨット部での経験は私の人生観に様々な影響を与えました。例えば「努力をすれば報われる」という言葉は自分が何かをするときの原動力となってくれる好きな言葉でした。しかしこの自然を相手にするヨットというスポーツは難しいスポーツで、誰よりも練習をしている、努力をしているつもりでも結果が伴わないことがあります。中高6年間特に悩むことなく野球をしてきた私もこの5年間ヨットをしてきて何回もその経験をして挫折してきました。しかし、その時に部活の仲間達に支えられ苦しい状況でも耐えて努力を続けていくことで、今年の東医体を自分の満足のいく実力をつけて迎えることができました。ここで学んだことは「努力を続ければ報われる」ということです。努力をすることは大切ですが努力をしたからうまくいくとは限らず、そこで努力することをやめずに続けることはさらに難しく大切なものです。一筋縄ではいかないこのヨットという競技が私に大切なことを教えてくれました。

また、部活動の中の主将、キャプテンという経験も私にとっては大きなものでした。私はもともと特別に全体を引っ張っていくことに長けているとは思っていませんでした。主将になった時も少し不安に気持ちをもってスタートしたのを覚えています。しかし同期の仲間や後輩達が自分をキャプテンであると認めてくれ、理解してくれたことで徐々に自信がつき、自分がこの部活を引っ張っていくという自覚をもって最後まで千葉大学医学部ヨット部のキャプテンを務めきることができたと思っています。団体を引っ張っていくことはその人の能力だけでなく、その団体を構成するすべての人の支えがなければ決してできないということを学びました。

最後になりますが自分達にはまだコーチという大きな仕事があります。3年ぶりの東医体を経験したからこそ後輩に還元できるものがあり、それが部活全体の成長につながっていくと考えております。3連覇を逃したこの悔しさを胸に、強い千葉大学を取り戻すべく部員一同再スタートを切っていきますので、これからも千葉大学医学部ヨット部のご支援ご声援のほどをよろしくお願いいたします。

# 関東医科歯科大会結果

医科歯科レースも東医体同様3年ぶりの開催となりました。医科歯科レースはレース艇が7艇、レースメンバー14名で挑みました。2日間で最大6レースを予定していましたが強風のため1日目に2レースのみの開催となりました。団体戦の結果は1ポイント差で東北大学に惜敗し準優勝となりましたが JPN4757 田中/鈴木ペアが2レース共にピンフィニッシュするなど来年の東医体に期待を寄せる結果となりました。

## 団体戦

優勝 東北大学 15pt

準優勝 千葉大学 16pt

3位 慶應義塾大学 26pt



▲ 1レース目スタートの様子

## 個人戦

優勝 田中/鈴木ペア (千葉) 2pt

準優勝 畑本/松尾ペア (慶應) 7pt

3位 松沢/小久保ペア (東北) 7pt

以下、千葉大学の成績

6位 原田/佐野ペア 14pt

13位 中西/岩岡ペア 24pt

14位 竹内/五町ペア 30pt

16位 北村/神保ペア 33pt

17位 大山/松原ペア 36pt

21位 小山田/坂本ペア



▲ 医科歯科レース後のレースメンバー  
(後列:中西/竹内/原田/大山/田中/北村/小山田  
前列:岩岡/五町/佐野/松原/鈴木/神保/坂本)



▲ピンフィニッシュを果たした JPN4757



## PayPal®を用いたご寄付のご案内

いつも千葉大学医学部ヨット部に多大なるご支援をいただきありがとうございます。2年前より、直接お会いしてご寄付をいただくことができない場合にお振り込みの手間をおかけせず更に簡単にご支援いただける方法として、PayPal®を用いたクレジットカードからの寄付によるご支援方法を新たに設けさせていただきました。尚、PayPal®のアカウントをお持ちでなくても登録せずに決済が可能となっております。これまで通り、お振り込みでの寄付もご利用いただけます。

PayPal®でのご寄付の方法について以下詳細をご紹介します。こちらは千葉大学医学部ヨット部 ホームページにも記載させていただいております。

- ①お手数ですが [chibamedyacht2017syumu@gmail.com](mailto:chibamedyacht2017syumu@gmail.com) のアドレスにお名前と寄付金額をお送りください。あるいは部員より連絡させていただいた際に連絡担当の部員に直接伝えてくださることもお受けできます。
- ②千葉大学医学部ヨット部の PayPal®アカウントを介して [service-jp@paypal.com](mailto:service-jp@paypal.com) のメールアドレスより先生方へ①で教えてくださった寄付金額をご請求させていただいたご請求のメールが届きます。  
(※アカウントの作成上、大変恐縮ですが請求者の名前が主務：坂本真理の個人名となっております。ご了承ください。お支払い内容の詳細に千葉大学医学部ヨット部と記入させていただきます。)
- ③メールに記載された「今すぐ支払う」ボタンを押していただき PayPal®アカウントをお持ちの先生方はそちらのアカウントより、お持ちでない先生方は「会員登録をせずに支払う」をご選択ください。
- ④「会員登録をせずに支払う」をご選択の場合、クレジットカード情報、姓名、携帯電話番号、請求先住所をご入力いただき付していただきご寄付のお支払いが完了いたします。
- ⑤ご寄付完了後、[service-jp@paypal.com](mailto:service-jp@paypal.com) よりお支払い完了のメールが届きます。

対象のクレジットカードは Visa, American Express, Mastercard, Discover, JCB となっております。

メール送信のお手数をおかけしてしまいますがオンラインでクレジットカードによってお支払いが可能ですので、ご寄付の手段の一つとして、よろしければぜひご検討ください。

また、ご寄付の方法や内容などにつきまして、ご不明点やご意見などがございましたら、お気軽に主務 ([chibamedyacht2017syumu@gmail.com](mailto:chibamedyacht2017syumu@gmail.com))までお問い合わせください。

## Facebook につきまして

昨年に引き続きまして、私たちの活動状況や各種行事のお知らせなどについて、Facebook に掲載しております。今後活動状況がどのようになるかわかりませんが、状況が変わり次第情報を発信していきたいと思っております。

アカウント名 "千葉大学医学部ヨット部"  
アドレス [www.facebook.com/chibamedyacht](http://www.facebook.com/chibamedyacht)

Facebook のアカウントをお持ちでない場合も、Web で上記 URL を検索していただくとページをご覧いただけます。アカウントをお持ちでしたら、ページ内の「いいね！」を押していただくと、ページの新情報をすぐにチェックできるようになります。

たくさんの「いいね！」をお待ちしております！お時間のある際には、是非ご覧ください。



## メールングリストにつきまして

OB の先生方に活動の報告を迅速にお送りするために、引き続きメールングリストをイベントの日程が決定した際のご連絡などに使わせて頂いております。freeml のサービス終了に伴い、Google グループに移行して今後も情報を発信してまいりますので、ぜひご活用ください。

移行に伴い何かご不便やご質問、ご意見がございましたら、お手数ですが、3年主務坂本までお聞かせいただけますと幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。

千葉大学医学部ヨット部主務 坂本真理

メールアドレス：[chibamedyacht2017syumu@gmail.com](mailto:chibamedyacht2017syumu@gmail.com)

## あとがき

今回は第38版の部報となっております。今年度は2大会ぶりの東医体の開催がされましたが結果は悔しくも準優勝となってしまい、日頃から見守って下さっているOB・OGの先生方に喜ばしい報告ができずに心苦しい思いです。しかしながらこの準優勝という結果は先生方のご支援なしには成しえなかったものだと思います。東医体に向けて充実した練習ができたのはOB・OGの先生方のおかげです。この悔しさをばねに来年の東医体で優勝できるよう、これからの練習に一生懸命取り組んで参りますので今後ともどうぞよろしくお願いたします。時節柄、どうかお体にお気をつけてお過ごしください。

千葉大学医学部ヨット部主務 坂本真理